

# かわべ

隔月発行  
河辺村公民館  
編集  
館報編集委員会  
☎(089339)2311  
佐川印刷 KK  
吉田町北小路 ☎2-0600

## 昭和五十五年度当初予算

一般会計 九二〇、七四七千円  
特別会計 二〇八、八八四千円

昭和五十四年度決算においては、相当数の赤字団体が出るであろうといわれている今日、本村におきましては公共事業の促進など住民福祉向上に努めるとともに、財政調整基金等の積立も約五〇、〇〇〇千円を見込んでおり、健全な財政運営に努めています。

さて「八〇年代は地方の時代」と流行語のようにいわれている今日ですが、五十五年度当初予算の方針は引き続ききびしい財政状況のもとで、社会経済の推移に適切に対応しつつ財政の健全化を促進してまいります。

歳入面においては、住民負担の合理化に配慮しつつ受益者負担の適正化に努めます。

歳出面においては、経費全般について徹底した節減合理化を行ない、住民福祉に直結した公共事業の確保に努められた財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹し、節度ある財政運営を行なうことを基本としております。

(歳出)

一般会計における投資事業は、四〇四、八三〇千円で歳出予算の四四％を占めており、その主な事業として、

- 村道改良事業 八四、三三三千円
- 農道改良事業 一四一、九二六千円
- 村道整備事業 七八、〇〇〇千円
- 義務教育施設整備事業 四四、〇〇〇千円
- 消防施設整備事業 二、四〇〇千円

このほか五十四年度から実施されている県営宮谷地区農道整備事業負担金に二七、〇〇〇千円を予定し、さらに五十六年度は立村以来の念願になっていた庁舎建築を計画しており、五十五年度に用地の確保と造成を完了するよう準備を進めておりますので、村民各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

## 昭和55年度の公民館活動計画

- 本年度の活動方針は、公民館を拠点として、あらゆる機会や場所を生かした住民の学習及びスポーツ活動を通じて、心身ともに健康で文化的な向上をめざすコミュニティづくりを推進し、次のような活動を実施することになりました。
- 一、各種学級、講座の充実
- (ア)幼児をもつ親の学習を援助するために「父母の教室」を年間六回開設
  - (イ)在学少年を対象に「校外活動リーダー研修会」を開催
  - (ウ)在郷青年を対象に「青年教室」を年間四回開設
  - (エ)婦人を対象に「婦人学級」を年間六回開設
  - (オ)成人と高令者対象には部落自治公民館単位に「地区交流講座」を開講
- 二、文化の振興と文化財の保存活用
- (ア)各種趣味グループの育成
  - (イ)文化祭及び各種展示会の開催
  - (ウ)民俗資料館の整備充実
  - (エ)指定文化財の保護と活用
  - (オ)郷土芸能や年中行事の継承
  - (カ)巡回文庫などによる読書の奨励
  - (キ)館報を年間四回発行
  - (ク)村民すべてがとりくむ同和教育の推進
  - (ケ)指導員の新設置などによる指導体制の充実
  - (コ)各種学級や部落巡回講座など
- 三、村民すべてがとりくむ同和教育の推進
- (ア)指導者の養成
  - (イ)ナイターソフトボールチームなどのスポーツグループの育成
  - (ウ)各種スポーツ行事の開催
  - (エ)親子レクのつどい五月五日
  - (オ)ソフトボール大会 七月
  - (カ)バレーボール大会 八月
  - (キ)県民体育祭へ参加 九月
  - (ク)十六回村民運動会十月十日
  - (ケ)卓球、バトミントン大会十二月
- 四、健康づくりと社会体育の振興
- (ア)指導者の養成
  - (イ)ナイターソフトボールチームなどのスポーツグループの育成
  - (ウ)各種スポーツ行事の開催
  - (エ)親子レクのつどい五月五日
  - (オ)ソフトボール大会 七月
  - (カ)バレーボール大会 八月
  - (キ)県民体育祭へ参加 九月
  - (ク)十六回村民運動会十月十日
  - (ケ)卓球、バトミントン大会十二月
- 五、社会教育団体の育成助長
- (ア)愛護班、青年団、婦人会、各種グループの指導者を養成
  - (イ)各種機関や団体との連絡調整

表1 一般会計の構成表

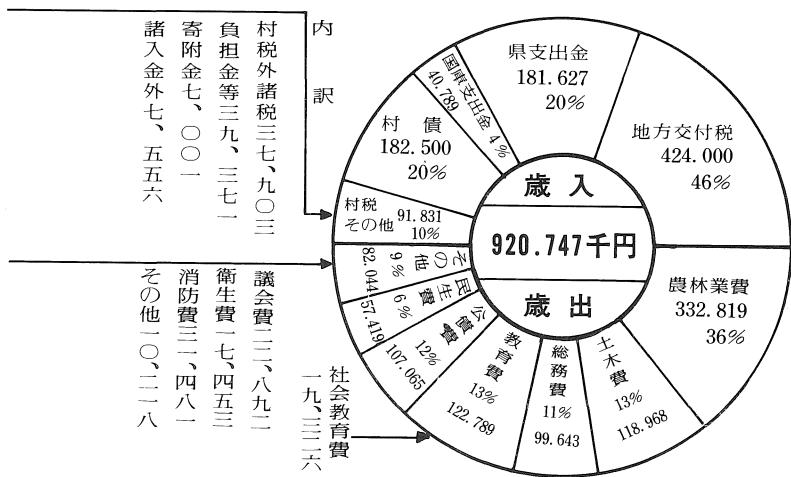
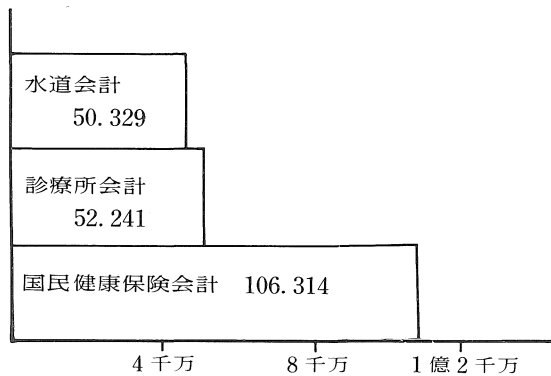


表2 特別会計



### 河辺村人口動態

(S.55.4月1日現)

世帯数 590  
人口 2,181  
男 1,117  
女 1,064  
(S.50.10国調)

世帯数 666  
人口 2,368  
(S.45.10国調)

世帯数 718  
人口 2,810

### 村議会の常任委員名簿

氏名	任務
森川 重生	総務民教委員・同和関係専門委員
北川 照正	議員会長・産業建設委員
藤田 藤好	総務民教委員
佐伯 範男	監査委員・総務民教委員
長岡 稔延	産業建設副委員長
山田 邁膨	副議長・総務民教委員・同和関係専門委員
花岡 努	産業建設委員
森 良樹	総務民教委員・同和関係専門委員
富永 万作	産業建設委員
本山 清明	産業建設委員
松本 吉久	総務民教副委員長
向井 保	議長・産業建設委員

### ふるさとに望む

大阪府 武田 佐由利

小学校の教師生活も十年をすぎ、その間に上着の山がでる。単純な遊びだが全身を使い頭も働かせて敵地へ乗りこむスリルは、子らに私ばかりにふれ、ふるさとの話をよくしてきた。一日にバス便は二回、バス停(大中山)に家が一軒もないなどという信じられぬ顔つきをする。家の灯が星かと間違えう程山の満天の星空、清流での水泳と魚とり、カブト虫やツノ虫、ときには玉虫まで家の中へ飛んでくる話になると子どもは目を輝かせる。私の話も熱をおびて遠い昔野山を駆けめぐって遊んだ日々が生き生きと蘇ってくる。そして、二本の陣になる木々えあれば夢中になって遊べる陣とをわらわらと外へ出ていく。約束のとがわらないうちには子どもはの動きもぶいけれど、私が率先して走りまわるとそのうち要領のわかってきた子もあつて、わり始め、頬を紅潮させ始める。

昨年秋、三人の子どもの出

とすぐに上着の山がでる。単純な遊びだが全身を使い頭も働かせて敵地へ乗りこむスリルは、子らに私ばかりにふれ、ふるさとの話をよくしてきた。一日にバス便は二回、バス停(大中山)に家が一軒もないなどという信じられぬ顔つきをする。家の灯が星かと間違えう程山の満天の星空、清流での水泳と魚とり、カブト虫やツノ虫、ときには玉虫まで家の中へ飛んでくる話になると子どもは目を輝かせる。私の話も熱をおびて遠い昔野山を駆けめぐって遊んだ日々が生き生きと蘇ってくる。そして、二本の陣になる木々えあれば夢中になって遊べる陣とをわらわらと外へ出ていく。約束のとがわらないうちには子どもはの動きもぶいけれど、私が率先して走りまわるとそのうち要領のわかってきた子もあつて、わり始め、頬を紅潮させ始める。

昨年秋、三人の子どもの出

### やねばし

雪を見て酒を酌むべし、今なれば直ちにそう考えるであろう、黒く降る雪が白く積る寒いある日のことであった。

「先生、アカギレで手が痛くていけんけ当番を休ませてくたさい。」そう言われてことわりに行ったら「水はいろわなくてもよいから掃く方をしなさい。」と言われて掃除をやらされてしまった。

小学校一年生の時である。当時一年生と二年生約四十名程度の複式学級であったが、二年生は授業終了後自分たちの教室の掃除をしてからでないと帰らしてもらえなかったのである。雪は降るし寒うはあるし、何とかしてサボってやろうと思っていたのだが不成功に終わってしまった。

その先生は、私の精神状態をよく分析していたのである。それまでよく私の言うことを聞いていてくれただけに腹が立つて仕方がなかった。

そんなある日、少し暖かくなったころであったが、廊下の柱にもたれてボサリとした時、イカグリ坊主の私の頭をソツとまでニッコリほほえんでだまって通り過ぎて行った。やわらかい暖かい手であった。

かすかに化粧の香りがして女性らしい感じがしたのが今なお頭の中に残っている。

当時、女の先生は羽織はかま、白たびといった服装で、わらわりの上はきであった。その白たびとわらわりの一語になって左右交互に運ばれて行くその上で、濃紺のはかまのすそがゆったりとゆれていた。そんな後姿をじっと眺めていたが、中味が何であるかは知る由もなかった。

わが頭をなでてみればまだ筆の暖かさが残っているような感じがした。

教育は教壇の上のみあるものではないと、ぼつぼつわかりかけてきたこの頃である。

### 河辺村社会教育指導員に佐伯範子先生を委嘱

このたび、村では社会教育指導員を初めて設置することになり、今年三月で北平小学校を最後に退職された佐伯里子先生を初の指導員として四月一日付で委嘱しました。

指導員の職務内容としては主に同和教育を担当していただき、差別解消へと努力していただきますのでよろしく御協力をお願いします。

教育は教壇の上のみあるものではないと、ぼつぼつわかりかけてきたこの頃である。



